

## 第 25 回 筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨

- 1 日 時 平成 30 年 3 月 20 日（金）10:00～11:10
- 2 場 所 文部科学省研究交流センター 2 階 第一会議室
- 3 出席者 （順不同，敬称略）  
 委員長：鈴木石根（筑波大）  
 委員：本田一匡（産総研），原澤英夫（環境研），篠原嘉一（物材研），  
 小森栄作（農研機構）  
 TF 座長：中村真人（農研機構）  
 事務局長：内海真生（筑波大）  
 ホルダー：広瀬登（筑協）
- 4 配付資料
  - (1) 第 24 回筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨（案） [資料 1]
  - (2) 各タスクフォースの平成 29 年度活動報告及び平成 30 年度活動計画について
    - ・次世代エネルギー TF [資料 2-1]
    - ・バイオマス TF [資料 2-2]
    - ・都市構造・交通システム TF [資料 2-3]
  - (3) 平成 30 年度事業計画 [資料 3]
  - (4) 諸報告 [資料 4]
- 5 議 事
 

議事に先立ち，委員長から，本年 1 月の筑協幹事会を踏まえて，1 月以降に開催する委員会からオープン化の一環として，傍聴及び配布資料・議事概要の公開を行うことになった旨の説明があった。

  - (1) 第 24 回筑協「つくば 3 E フォーラム」委員会議事要旨（案）の確認について  
 委員長から，各委員にメールにて照会・確認済みである旨の説明があり，異議なく確認された。
  - (2) 各タスクフォースの平成 29 年度活動報告及び平成 30 年度活動計画について
    - 次世代エネルギーシステムタスクフォース  
 事務局から，資料 2-1 に基づき，今年度は主に茨城県への水素ステーション誘致促進活動及び水素関連シンポジウム等への協力を行った旨の報告があった。次年度に向けては，誘致促進活動の継続と SDGs への提案策定を行う旨の説明があった。
    - バイオマスタスクフォース  
 TF 座長から，資料 2-2 に基づき，今年度はアクアポニックス技術のマニュアル化及びアクアポニックスへのバイオマス技術の新たな活用に向けて取り組みを進めるとともに，アクアポニックスシステムについて積極的に情報発信を行った旨の報告があった。次年度についても継続して取り組みを推進したい旨の説明が

あった。

○都市構造・交通システムタスクフォース

事務局から、資料2-3に基づき、今年度は大学構内のバス利用マナー向上の実験を引き続き行ったこと及び新規事項として環境負荷低減につなげるため宅配便に関する問題（再配達）にも取り組んだ旨の報告があった。次年度についても今までの活動を継続する旨の説明があった。

(3) 平成30年度事業計画について

委員長から、資料3に基づき、フォーラム会議日程、世界湖沼会議展示会に出展など、次年度の事業計画について説明があり、了承された。また、つくば市との連携推進のため懇談を持ちたい旨の発言があった。

関連して筑協事務局から、つくば3EフォーラムのCO<sub>2</sub>排出量50%削減目標のゴールについても、委員会及びタスクフォースにおいて検討いただきたい旨の発言があった。

(4) 諸報告

事務局から、資料4に基づき、第11回つくば3Eフォーラム会議など今年度の活動について報告があった。

関連して委員から、3Eフォーラム・アドバイザーボード会議での意見に関して質問があり、委員長及び事務局長から説明がなされた。

(5) その他

委員長から、委員の異動がある場合は、事務局まで連絡いただきたい旨の依頼があった。

次回日程 平成30年9月下旬頃を予定

以上